

砂防えん堤探検隊

～地元小学生を対象に～

砂防災害課

国土交通省と都道府県では、昭和 58 年から毎年6月を「土砂災害防止月間」として、土砂災害の防止と被害の軽減を図るための各種活動を実施しています。

今回は土砂災害防止月間の一環で行われた砂防えん堤探検隊についてお知らせします。

毎年、岩手県、国土交通省岩手河川国道事務所、滝沢市、雫石町及び一関市では、次代を担う小学生を対象に、地域の安全を支える砂防施設や災害から自らの身を守ることの重要性について学習（八幡平山系では火山災害、磐井川では土砂災害）することを目的に「砂防えん堤探検隊」を開催しています。

八幡平山系の砂防えん堤探検隊の様子



職員からの説明を真剣に聞く児童



大きな石だなあ



終了証の授与



最後に記念写真をパクリ！

今年度の砂防えん堤探検隊は、八幡平で4回、磐井川で3回の開催を計画しています。先陣として6月 10 日に雫石町立上長山小学校3、4年生の児童 11 人が出発しました。当日は、八幡平市にある「イーハトーブ火山局」に集合し、岩手山の噴火の歴史を学んだ後、岩手県立大学の伊藤教授によるコーラ噴火実験の体験、焼走り溶岩流、小水無沢第1砂防えん堤と松川流路工を見学しました。子どもたちは真剣に砂防施設の重要性について学んだ様子でした。

最後に砂防災害課加藤総括課長から修了証を授与し、無事に終了しました。